

(再評価)

烏・神流川直轄河川環境整備事業

- 烏・神流川河川利用推進事業 -

資料 2 - 3
関東地方整備局
事業評価監視委員会
(平成16年度第3回)



平成16年11月8日

国土交通省関東地方整備局

烏・神流川直轄河川環境整備事業 再評価資料

目 次

- 1 . 河川環境整備事業（利用推進）の概要
- 2 . 流域の概要
- 3 . 烏・神流川の概要
- 4 . 烏・神流川の河川環境
- 5 . 水辺利用の実態
- 6 . 烏川・神流川区域空間管理計画
- 7 . 河川利用に対する沿川住民の声
- 8 . 烏・神流川環境整備事業箇所
- 9 . 整備事例 鬼石町浄法寺地区（神流川）
整備事例 神流町小浜地区（神流川）
整備事例
- 10 . 費用対効果分析
- 11 . コスト縮減に向けた取り組み
- 12 . 今後の対応方針（原案）

1. 河川環境整備事業(利用推進)の概要

河川環境整備事業

< 3つの事業区分 >

水環境事業 ……健全な水環境系の構築
(水質・水量の改善)

自然再生事業……良好な自然環境の保全・再生
(動植物の生息・生育環境、河川景観等の保全・再生)

河川利用推進事業 ……人と河川の豊かなふれあいの場の確保
(河川空間の親水性・利便性向上等のための地域と一体となった親水護岸や散策路等の整備)

河川利用推進事業の概要 (主な施設)

親水性の向上



ワンド



親水護岸

利便性の向上



散策道



緩傾斜スロープ・階段

河川利用推進事業の概要 (地域との連携)

事業実施にあたっては、現存する自然環境や景観等に配慮しつつ、地元自治体や住民等地域との連携を図りながら取り組んでいます。

- ・自治体による河川敷の利用や隣接地でのスポーツ・レクリエーション施設、公園・緑地整備に合わせて一体的な整備を図ります。
- ・整備後の管理・運営については、自治体や地域住民が主体となって実施します。

自治体のグランド・公園整備と一体的に整備した事例

鬼石町・浄法寺地区(神流川)

河川管理者



高水敷整正、階段工等の基盤整備

地域住民



整備完成後の運営・管理のサポート

自治体



グランド、公園、児童遊具等整備及び管理・運営

4. 烏・神流川の河川環境



烏川(藤岡市立石)



神流川(藤岡市本郷)

烏・神流川に暮らす生物たち



カワセミ



チョウサギ



オギ群落



オイカワ



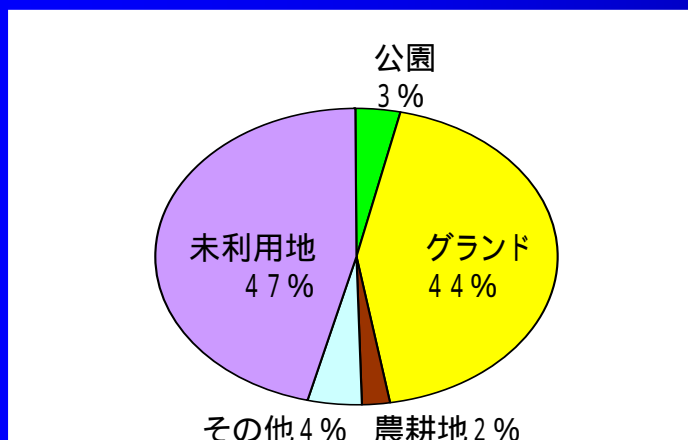
アオハダトンボ



神流川(神川町小浜)

5. 河川利用の実態

高水敷の利用形態(烏・神流川合計)



H15河川台帳より

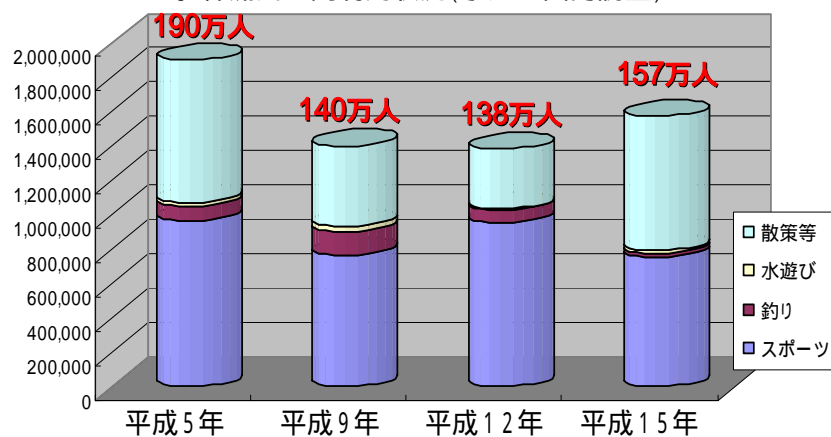


烏川緑地公園(高崎市)



浄法寺スポーツ公園(鬼石町)

烏・神流川空間利用状況(水辺の国勢調査)



- ・高水敷の約44%がグランド
- ・地域でのスポーツ・レクリエーション等の拠点として多くの人々が利用。
- ・反面、水遊びつり等の水辺利用は少ない傾向

6. 烏川・神流川区域空間管理計画

烏川・神流川では、河川空間の保全と利用を適正に行っていくため、「烏川・神流川区域空間管理計画」を策定し、下記のとおり河川空間区分を設定。

(河川空間区分)

1. 自然ゾーン

あるがままの自然を保全し、ふれあう場

2. 自然利用ゾーン

流域の自然環境や景観に配慮した、自然指向の利用の場

3. 整備ゾーン

高水敷や河岸を利用した各種レクリエーション・スポーツ活動の場

7. 河川利用に対する沿川住民の声

草木が繁茂し、人が立ち入りづらく、水辺まで近づけない箇所が多い。

- ・昔に比べて、川にほとんどいけなくなった。
- ・水はきれいになったが、河川敷は荒れている。

手軽に水辺とふれあえるポイント(拠点)がほとんどない。

- ・人が川と親しめる環境が欲しい。
- ・川で活動できる環境・施設が欲しい。
- ・ボート遊びや川で泳げる工夫がほしい。

< アンケート結果より抜粋 >

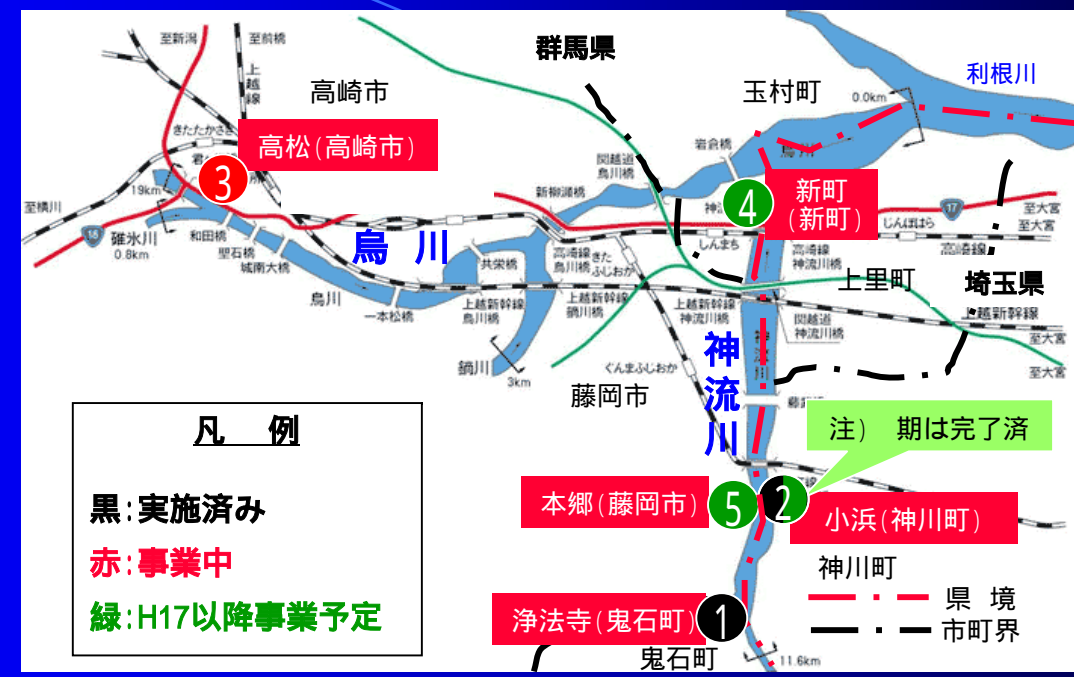


高水敷に草木が茂っているため河岸まで近づきづらい(神流川)



手軽に水辺とふれあえるポイントが少ない(神流川)

8. 烏・神流川環境整備事業箇所



No.	河川名	地区名	市町村	事業年度	整備内容	事業費	関連事業
	神流川	浄法寺	群馬県鬼石町	H7 ~ H10	高水敷整正 親水護岸	約2.5億円	浄法寺スポーツ公園
	神流川	小浜	埼玉県神川町	H10 ~ H12 H17 ~ H18	期:親水護岸 期:緩傾斜スロープ 散策路	約4.0億円	神川町スポーツ公園 埼玉県神川温泉保養センター
	烏川	高松	群馬県高崎市	H12 ~ H16	親水護岸	約3.5億円	高崎市リバーサイド公園整備 (多目的公園)
	烏川	新町	群馬県新町	H21 ~ H25	緩傾斜スロープ 散策路 親水護岸	約4.4億円	新町多目的河川公園
	神流川	本郷	群馬県藤岡市	H19 ~ H20	緩傾斜スロープ 散策路 ワンド	約1.5億円	水辺の楽校プロジェクト

9. 整備事例 鬼石町浄法寺地区(神流川)



整備事例 神川町小浜地区(神流川)



整備イメージ



車イスやベビーカー利用者に負担の少ない緩傾斜スロープ

整備前



草木が繁茂し、水辺まで近づけない

整備イメージ



散策道

整備前



水衝部のため段差がありクレーク状態

整備後



現地巨石を利用した護岸



整備予定箇所



高松地区(烏川)



新町地区(烏川)



本郷地区(神流川)

10. 費用対効果分析

便益の算定条件

計測手法 CVM(仮想評価法)による負担金の支払い意志額

アンケートの内容

「鳥・神流川において、地元自治体と共同で5箇所の水辺交流拠点を整備するにあたり、水辺利用を推進するための親水施設やスロープ、散策路等の施設整備に対して、1世帯あたり1ヶ月いくら負担できますか。」

集計世帯数

管内流域7市町2,000世帯(全体154,141世帯)

うち有効回答数 690世帯(約35%)



効用額 = 151円 / 月 / 世帯

費用対効果分析(結果)

総便益 約54.4億円

- 利便性・安全性の向上
- 環境教育・自然体験活動の推進支援
- 地域振興・活性化支援
- 水辺や自然とのふれあう機会の充実
- 景観の向上
- ゴミの不法投棄の抑止

総費用 約17.5億円

- 5箇所の整備費用(維持管理費含む)

費用便益費

$$\text{総便益} / \text{総費用} = 54.4 \text{ 億円} / 17.5 \text{ 億円} \\ 3.10$$

11. コスト縮減に向けた取り組み

- ・かごマット工法や巨石工の採用など、現地採取可能な材料を有効に活用しコスト縮減を図ります。
- ・さらに、今後は間伐材の積極的な有効活用を図ります。



かごマット施工事例(烏川)



巨石護岸施工事例(神流川)

12. 今後の対応方針(原案)

事業の必要性の視点

烏・神流川では、誰もが安心して水辺や豊かな自然とふれあえるよう、水辺アクセスの改善やふれあいの場の創出など強く求められています。

事業進捗見込みの視点

5箇所の整備予定箇所のうち2箇所は完成済みであり、事業は順調に進んでいます。

本事業の進捗に当たっては、特段支障はないものと考えられます。

対応方針(原案)

- ・本事業は継続が妥当と考えています。
- ・平成25年度の事業完了に向けて、群馬県、埼玉県及び沿川市町と連携を図るとともに、地域住民との交流を図りながら引き続き事業を推進していきます。